

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.13 令和2年12月21日

海の風景とくらし部門入賞作品の紹介と講評その2

優秀賞「がまんの夏 2020」 名向小学校5年生 岩崎蓮音（れおん）さん

コロナ禍の中で生活様式を変えた夏を表した、とても印象的な写真だと思いました。今年ならではの写真ですね。

三浦の人々と切っても切れない縁がある身近な海。来年は、こういう金網等が撤去されるといいですね。



優秀賞「次の出航のために」 南下浦小学校5年生 谷璃音（りおん）さん

実際に、夜の漁港へ行く人は限られると思います。白とオレンジの明かりがつき、作業が行われる、昼とは違った顔を見せる三崎漁港。

奥の船は、いったいどこへ向かい、何を漁獲するのでしょうか。

優秀賞「たこ漁師のはっちゃん」 旭小学校6年生 吉田湊海（みなみ）さん

青空の下、壺に向かって、どっしりと構えた姿が、仕事に年季が入っていることを物語っていますね。画面中心に、人物をしっかりとらえています。

はっちゃんの深くかぶった麦わら帽子が生み出した影も、いいですね。淡々と作業をしている中にも、にじみ出る迫力のようなものを感じました。



優秀賞「海とともに生きる」

初声小学校6年生 七五三木（しめき）悠真（ゆうま）さん

漁港関連の場所以外では見られない仕事を撮影した一枚です。重機に囲まれた中で行われている、網でいけすの中の魚をくみ上げる着飾らない生活感あふれる姿、三浦で行われている日常の一場面ですね。

とても素敵なお一枚だと思いました。

SDGsについて その10 “SDGsは、なぜ重要なのか？”

SDGsとは、2015年9月の国連総会で加盟国193か国すべてが賛同した国際目標です。日本語では、「持続可能な開発目標」と訳されることが多いです。

SDGsで重要なのは、“すべての国連加盟国が賛同している”という点です。すべての国が、体制や経済的なパワーの違い等を超越して大きな目標に賛同しているのです。つまり、世界の進むべき方向性が明らかになっているということになるのです。（蟹江憲史著「SDGs」を参考にしました。）



みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、
学校教育課まで 882-1111（内線428）